

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社ニコン（証券コード: 7731）

【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
債券格付	A+
国内CP格付	J-1

■格付事由

- 光利用技術と精密技術をベースに、映像、精機、ヘルスケア、コンポーネント、デジタルマニュファクチャリングの各事業を展開している。映像事業はレンズ交換式デジタルカメラと交換レンズが主力。精機事業では FPD 露光装置と半導体露光装置を手掛ける。近時は主要事業である映像と精機の安定化と、戦略事業であるヘルスケア、コンポーネント、デジタルマニュファクチャリングの拡大に注力している。
- 業績は底堅く推移する見通しである。映像事業はミラーレスカメラの商品力強化やミラーレスカメラ用交換レンズの拡充などを通じて業績が持ち直している。また、コンポーネント事業やヘルスケア事業の業績貢献が高まったことで収益源の多様化が図られた。これらを背景に、精機事業の足元における業績悪化の影響を一定程度軽減できるとみられる。財務面では、SLM 社の買収もあり手元流動性が減少したものの、強固な財務基盤は揺らいでいない。以上を勘案し、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 23/3 期売上収益は 6,281 億円（前期比 16.4%増）、営業利益は 549 億円（同 10.0%増）となった。精機事業は FPD 露光装置の販売台数が顧客の設備投資抑制により減少したことを主因に減益となったが、特に映像事業が利益をけん引した。一方、24/3 期売上収益は 6,650 億円、営業利益は 430 億円と増収・営業減益の計画である。営業減益の主因は精機事業であり、FPD 露光装置の販売台数が引き続き減少する見通しである。ただ、FPD 露光装置の販売台数は 25/3 期に反転する見通しが示唆されている。
- 23/3 期末の親会社所有者帰属持分比率は 58.6%（前期末 57.5%）と良好である。前受金の減少や在庫の増加で営業キャッシュフローが圧迫される中、SLM 社の買収や自己株式の取得もあり手元流動性が減少したものの、実質無借金が維持されている。今後も持続的な成長に向けた投資と株主還元強化をともに推進するものの、親会社所有者帰属持分比率は 55~60%を目安にコントロールする方針である。
- 買収した SLM 社は金属 3D プリンターを手掛けており、同社の買収はデジタルマニュファクチャリング事業強化の一貫として実施されたものである。買収金額は過去最大規模であり、23 年 1 月にのれん 477 億円、無形資産 336 億円がバランスシートに計上された。デジタルマニュファクチャリング事業の 24/3 期営業利益は 90 億円の赤字予想であり、同事業を早期に黒字化できるか注目していく。

（担当）千種 裕之・関口 博昭

■格付対象

発行体：株式会社ニコン

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 21 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2014 年 3 月 14 日	2024 年 3 月 14 日	0.864%	A+
第 22 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2020 年 12 月 2 日	2025 年 12 月 2 日	0.150%	A+

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第23回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年12月2日	2030年12月2日	0.470%	A+
対象	発行限度額	格付			
コマーシャルペーパー	500億円	J-1			

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2023年6月22日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：千種 裕之
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「電機」（2011年7月13日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社ニコン
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル